Jazz Interview Vol.68

★ LA 出身の新進気鋭 & 注目の次世代ピアニスト！★

コニー・ハン【Connie Han】

オシャレでセクシーな佇まい、パワフルで表現豊かなプレイも目を見張るコニー・ハン。スタインウェイ・アーティストでもあるコニーは、2018 年に Mack Avenue Records よりデビュー・アルバム『クライム・ゾーン』を発表し大注目を浴びた。2020 年 6 月には同レーベルから第 2 弾アルバム『アイアン・スターレット』を発表。ダウンビート誌でも “She's already a crazy-good player, arranger and improviser” と称賛されているように、そのテクニックとパフォーマンスは折り紙付きで、作曲家としての才能も秀逸。2022 年に更なる活躍と飛躍が期待される中、注目の次世代ピアニストに直撃した。

2022 年 2 月 取材・文：加瀬正之　取材協力：Mack Avenue Records / photo: Michael R Pool】

★ まずは、誕生日おめでとうございます！　2 月 4 日に 26 歳を迎えましたが、どんな気分ですか？

　ありがとう！　私は将来に楽観的なので、今後は自分の芸術性の更なる構築に励んでいきたわ。

★ 最新アルバム『アイアン・スターレット』はあなたのピアノと共にサウンドも最高で、本誌「Vol.61」で紹介させてもらいました。このアルバムはあなたのキャリアにおいてどのような作品になりましたか？

　『アイアン・スカーレット』はマッコイ・タイナー、ケニー・カークランド、ハンク・ジョーンズの伝統をもとに、私自身のアイデンティティを表現した作品なの。ヤングライオンズのエネルギッシュで力強いスイングとグルーヴも作曲の際にとてもインスピレーションを受けたわ。

★ 収録曲は全部好きですが、特にフェンダーローズを弾いている「ノヴァ」、あなたのオリジナル楽曲「ミスター・ドミネーター」がお気に入りです。アルバム・タイトルの『アイアン・スターレット』は、あなた自身の意味だと思いますが、どのように決めたのですが？

　ありがとう。「ノヴァ」はこのアルバムのプロデューサー兼ドラマーのビル・ウィサスケが作曲したの。私のお気に入りのトラックの一つだわ！「ミスター・ドミネーター」はハンク・ジョーンズ、サド・ジョーンズの演奏への敬意の意味も込めて作曲したから楽しかった。彼らはノートやリズムの選択も階級、品性、嗜好に着目して慎重に行なっているのね。女性的で小柄な見かけとは対象的に、私はタフで情熱溢れる性格なの。それで、“ アイアン ” と “ スターレット ” の組み合わせがそのコントラストを表現するのにピッタリだと思ったのよ！

★ YouTube で「ラヴ・フォー・セール」の演奏を聴きましたが、個性的でとても気に入っています。YouTube 等、SNS についてどう思いますか？

　ありがとう！　SNS とか YouTube は練習室を離れずに何千何万の人々と交流できるから便利ね。自分の音楽の収益化を求むアーティストにとってはこういったプラットフォームは命綱でもあるわ。でも、私はやっぱりライヴパフォーマンスには勝らないと思うの、特にジャズみたいな音楽はね。ジャズは自発的で自然体なアートだからライヴで観客の気を引く体験が一番。私が聴いた最高のジャズのほとんどが非公式のコンサートで聴いたものよ！　化学反応やアドレナリンに満ち溢れていて、唯一無二な体験だわ。

★ 次のアルバムの予定やアイデアはありますか？

　次のアルバムは 11 月にレコーディング済みよ！　内容について話したいところだけど、今作は曲作りや演奏に影響を与えた神話の要素を取り入れたより進化した芸術作品になっているとだけ言っておくわ。アルバムは今年の夏にリリース予定よ！

★ 前作『クライム・ゾーン』のタイトル・ナンバーは日本のアニメ「AKIRA」にインスパイアされて書いたそうですが、他にお気に入りの日本のアニメはありますか？

　アニメは大好きよ！　漫画も好きで、特に SF ／サイバーパンク／ファンタジー／少年／時代劇：ベルセルク、シェルの幽霊、エルゴプラクシー、アリータ：バトル・エンジェル、ガンツ、ブラック・ラグーン、進撃の巨人、サムライチャンプルーとカウボーイビバップがお気に入り。サムライチャンプルーとカウボーイビバップはヒップホップとジャズとを交えたサウンドトラックが最高で、大人向けのテーマと哲学的な要素があるのもいいわ。

★ 日本のイメージについて聞かせて下さい。

　今まで日本に行ったことないのが信じられないけど、日本での待望のデビューを楽しみにしているわ！

★ ロサンゼルスで様々なジャンルの音楽を聴きながら育ったそうですが、子供の頃はどんな音楽を聴いていたのですか？

　ジャズの他に、J ポップ、テクニカル／プログレッシブ・デス・メタル、インディー、クラシック、70 年代／ 80 年代のプログレッシヴ・ロックとポップをよく聴いたわ。正直、私は耳に付くものはなんでも聴くの、特にメロディ、テーマ、リズムが印象的な曲とか、奥深くて複雑な曲調のものとかもね。カプセル、宇多田ヒカル、メシュガー、ザ・フェイスレス、プロコフィ

エフ、マーラー、スティーヴィー・ワンダー、ジョージ・デューク、マイケル・ジャクソンが好きかな。

★ 強い影響を受けたピアニストを挙げて下さい。
【アート・テイタム】
　彼のピアニストとしての実力で右に出るものはいないわ。

【マッコイ・タイナー】
　彼のピアノへの情熱と積極性は知られているけど、とても音楽性に長けていて、革新的なリズムかつエレガントなリリシズムも魅力の一つだわ。彼は生存していた数少ない伝説のバップ・ジャズ・マエストロとして、私もお手本としてとても尊敬している。彼はピアノを特にドラムと並んで、パーカッシブでインタラクティブな楽器として前進させたの。アート・テイタム、オスカー・ピーターソン、フィニアス・ニューボーン・Jr. 等のピアニストは、皆その巧みなテクニックで知られているけど、マッコイがその先駆者であり、現在でもリズムセクションとのシンコペーションとテーマに沿った相互作用で影響を与えているわね、特にコルトレーン時代のエルビン・ジョーンズとね。彼らはジャズを新境地へと誘ったてくれたわ。

【ケニー・カークランド】
　彼からはリズムと感性を学んだわ。彼はマッコイと同様にピアノを打楽器としてアプローチしている。彼のスタイルはアフロ・キューバン／ラテン系のリズムを取り入れていて、“ゴースティング”オフビートを象徴とした独自のスタイルを築いている。彼のリズム感はファンキーかつ軽快で、ドラマー／パーカッショニストのような厚みのあるのが特徴ね。

【ハンク・ジョーンズ】
　彼はエレガンスと叙情性の象徴だわ。彼は私の明快さ、旋律、洗練さへの理解をスタイルとして教えてくれたの。アート・テイタムと並んで、彼のソロ・ピアノ作品やコンセプトを研究して、私のソロ・ピアノのスキルセットに積極的に取り入れているわ。

★ 強い影響を受けたジャズ・アルバムを 3 枚挙げて下さい。
『ブラック・コーズ（フロム・ジ・アンダーグラウンド）』／ウィントン・マルサリス
　『ブラック・コーズ』は長年私のお気に入りよ。今を大切にすることや、探究を恐れないこと、深くて意味のあるスイングの伝統を受け継ぐことといった私の音楽の基礎にもなっているの。このアルバムは妥協のない活力とリズムに対する現代的なアプローチを象徴する作品だわ。

『アポン・リフレクション』／ハンク・ジョーンズ
　このアルバムの気品があって成熟された曲調が私のトリオ演奏に多大な影響を与えてくれたわ。リズムがビッグ・バンドに似ているのに、繊細で控えめな演奏が好きなの。しかも、このアルバムは私が聴いた中で唯一エルヴィン・ジョーンズが独占的にブラシを披露しているのよ！　レパートリーの中にはサド・ジョーンズも多く含まれていて、特に私が作曲した「ミスター・ドミネーター」はジョーンズ兄弟からインスパイアされたの。

『ザ・リアル・マッコイ』／マッコイ・タイナー
　『ザ・リアル・マッコイ』と『ブラック・コーズ』は、10 代から大人になるまで聴き続けていたわ。マッコイの「パッション・ダンス」でのピアノ・ソロの生の力、現代のポリリズムと旋法の狂気には絶大な影響を受けたわ。『アイアン・スターレット』に収録されている私のオリジナル曲「フォー・ジ・ O.G.」は、モダン・ジャズ・ピアノのギャングスターでもあるマッコイ・タイナーに敬意を表するために作曲したのよ！

★ ピアノ以外の楽器の演奏や歌ったりしますか？
　私はピアノ一筋、ピアノに自分の芸術性を託しているの！

★ いつもオシャレでファッショナブルで素敵ですが、お気に入りのブランドやこだわりはありますか？
　ありがとう！　私はファッションも愛していて、音楽と同様にアイデンティティの一部だと思っているの。お気に入りのブランドは他にも数え切れないほどあるけど、オールセインツ、BLK DNM、ルルレモン、IRO、コマンドー、Zara とかね。特にお気に入りの洋服はほとんど小さなブティックで揃えているから、良いものを検索するためにいつどこでも目を光らせているわ。

★ 音楽以外の趣味はありますか？
　ファッション、美容、ゲーム、グルメコーヒー、アニメ／マンガ、テクノロジー、SF ／ファンタジー映画、テレビやスター・ウォーズ、スタート・レック、ニューロマンサー、デューン、ハイペリオン等の本かな。

★ 今年、2022 年の特別な計画はありますか？
　今年は次回作のアルバムのアートワークと具体化することに注力したい。あと、ツアーも検討していて、今月末は西海岸とセントルイス、夏にはニューヨークでも演奏を予定しているのよ。

★ 最後に「The Walker's」読者と日本のファンにメッセージをお願いします！
　今まで世界中を旅してきた中で日本が一番。文化、食べ物、メディアはもちろんだけど、日本人の優雅さ、堅実さとそのユニークな創造力に感銘を受けるわ。アメリカの文化であるジャズをこれほどまで受け入れ、共有してくれてとても嬉しい。日本での初公演が待ち遠しいわ！

【コニー・ハン オフィシャルウェブサイト】
http://www.conniehan.com

アイアン・スターレット
コニー・ハン

Mack Avenue Records
MAC-1171
(Import CD)
2020.6 .12 発売

コニー・ハンの最新アルバム